

## 〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ⑥〉

2018年9月27日

本部建設キャリアアップシステム担当発

### ①府中国立支部、事業所向け登録事務学習会を開催

府中国立支部は9月21日夜7時より支部会館で事業所向けに学習会を開催、約20人が出席。宮沢委員長が、処遇改善のためみんなで登録しましょう、と挨拶。本部用意の50頁のパワーポイント資料と郵送登録の事業者用と技能者用の両方の書類、拡大メ리트集が全員に配布されました。担当の水川書記は事前に「事業所が登録するための実務中心、取り組みの意義は全体の1割程度で話してほしい」と依頼があり、講師の近藤書記次長は本部資料の一部だけ説明し、あとは登録申請書を全員が開封し、1枚1枚の記入用紙の内容を解説。質疑では「4月の本格運用が開始される前に事業者は現場情報も登録しなければならない。下請けも登録するのか」という質問などがあり、「現場情報登録やカードリーダー設置は元請がおこなう」と回答されました。最後に宮沢委員長が、このシステムは産業民主化への大事な取り組みです、事業所の皆さんの登録などの実務支援をしっかりと組合で行います、秋の仲間づくり運動のなかで組合員加入にご協力ください、と閉会の挨拶があり終了しました。郵送登録書類の説明は、実践的であり好評でした。

支部では、今度は12月20日の夜には、専門工事企業の見える化検討委員会の座長である芝浦工業大学の蟹澤宏剛教授を講師に事業所を対象としたシステム学習会を開催する予定です。

### ②主任書記会議で全建総連田口書記次長が業界の動向や開設状況を報告

9月21日本部開催の主任書記会議で総連田口書記次長が1時間ほど「システムの進捗状況について」と題して報告。首都圏建設産業ユニオンは全支部が認定登録機関となる予定で、現在、本部に機器を設置し窓口業務を開始、8月20日以降役員登録を9月30日までおこない、建設キャリアアップシステムのサイトでの窓口情報の公開は10月1日、などの各組合の現況を紹介。また、鹿島や大和ハウスなどの動向、開発中の現場就業履歴蓄積のスマホアプリの紹介、一人親方こそ率先して登録すべきだとし、東京土建が先進的に取り組んでほしいと期待する報告をされました。田口次長の使用したパワーポイント資料は即日、全支部へメール送信しました。

### ③キャリアアップシステム 建設業許可の更新時に周知

国土交通省は、建設業許可業者に建設キャリアアップシステムの登録を促すため、建設業許可通知書と経営事項審査結果通知書にシステムのリーフレットを同封することとしました。駆け込みホットラインなど相談窓口のリーフレットを同封し、法令違反などに対する相談体制も周知するとしています(建通新聞2018年9月21日)。

### ④過去の経験年数 資格、建退共で補完

国土交通省は、建設キャリアアップシステムを活用した技能者の能力評価制度で、技能者がシステム運用開始以前に積んだ経験の裏付けとして、を保有資格、建退共制度、表彰などで補完できることとしました(建通新聞2018年9月20日)。全建総連が求めてきたことであり、これにより就業履歴の蓄積開始される前の経験を技能の一部とすることが可能になります。

以上